［ 様式１－４ ］

【貸与】 休止の異動願（ 届 ）

貸与

独立行政法人日本学生支援機構理事長　殿

下記のとおり願出（届出）いたします。

※給付奨学金の「異動願（届）」は様式が異なります。
別途作成してください。

☐ **返還誓約書の機構送付**
※送付済の場合は□に✔をいれてください。返還誓約書を送付していない場合，本願（届）を作成できません。

1. 基本情報

太枠内を全て記入してください。

届出年月日	

学校名											**学籍番号**		**生年月日**	
学部・学科（課程・研究科）											**フリガナ**		**学年**	年
奨学生番号①											**氏名**	（長期履修学生の貸与先送り）の場合、**奨学生の自署が必要**です。		
奨学生番号②														

2. 異動情報

以下、該当する異動種別 【休止】(通常）【休止】(長期欠席）【休止】(長期履修学生の貸与先送り）【休止】(留学）、及び異動事由(病気、経済事情等)を選択して✔を入れ太枠内を記入してください。

記入者	☐ 【休止】(通常の休学)	
学校	☐ 病気 ☐ 経済事情 ☐ 一身上 ☐ その他	
	在学の身分であった最終日	年　月　日

記入者	☐ 【休止】(長期欠席)	
学校	**休止開始年月**	年　月

記入者	☐ 【休止】(長期履修学生の貸与先送り） 奨学生の自署が必要	
奨学生	**中断希望年月**	年　月から
学校	**卒業期**	年　月（見込）

※学籍確認のため卒業期の入力は必須です。

記入者	☐ 【休止】(留学)			
学校	留学情報	国名		
		留学時の身分とその期間 ※1 ※2	Ⅰ	☐ 休学 ☐ 留学 ☐ 在学 年　月　日 ～　年　月　日
			Ⅱ	☐ 休学 ☐ 留学 ☐ 在学 年　月　日 ～　年　月　日
		国費情報 ※3		☐ 海外留学支援制度 ☐ 官民協働海外留学支援制度
		受給期間		年　月 ～　年　月
	休止希望年月 ※4			年　月から
	留学奨学金継続願提出			☐ 有 ☐ 無

※1　留学中に複数の身分が存在する場合のみⅡの欄も記入する。
※2　「休学」を選択した場合は休学期間、「留学」を選択した場合は「留学」の身分に異動する期間を記入し、実際に渡航する期間は記入しない。「在学」を選択した場合は学校で把握している留学期間を記入する。
※3　国費情報及び受給期間は、この2つ以外の場合「私費」として取扱い、記入不要。
※4　私費により3か月以上「休学」の身分で留学する場合は、休学期間のすべてを休止（留学）としなければならないため記入は無効です。

休止の異動始期は　　です。

3. 学校から機構への連絡事項記入欄

4. 学校証明欄

上記記載のとおり相違ないことを証明いたします。

学校の証明　　年　月　日

学 校 名

担当課長※

※証明者は課長相当職以上の方としてください。

電話番号	学校番号	区分

5. 学校処理

6. 機構に送付が必要な理由

下記に✔が入る場合は、スカラACから入力処理せずに異動願を機構に送付してください。

☐ 振込超過あり　☐ 貸与（長期欠席・貸与先送り）で新給付の対象者　☐ 身分が「留学」または「在学」で新給付の対象者

☐ 未振込あり　☐ その他

未振込分の送金は、以下の条件に該当する場合のみ認められます。
希望する場合は状況を確認のうえ、チェックし本届出を送付してください。
なお、該当しない場合は、記入があっても無効とします。

☐ **未振込分送金依頼**
未振込期間において、**長期欠席**や**廃止・停止はない。**

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は，機構の奨学金支給業務，奨学金貸与業務（返還業務を含む）及び在籍する学校での授業料等減免業務のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において，当該情報（奨学金の返還状況に関する情報を含む）が，学校，金融機関，文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが，その他の目的には利用されません。また，行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は，適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

（機構使用欄）

最終振込年月	第一種：20　年　月 第二種：20　年　月	振込超過 ☐有 ☐無	第一種：　か月 第二種：　か月	要返戻金額	第一種：　円 第二種：　円

提出先	スカラAC入力	郵送の要否
異動・補導係	処理必要	送付不要

（26.4）